

授業科目：生理学，口腔生理学－神経生理学－

担当教員：岩田 幸一，篠田 雅路，坪井 美行

授 業 の ね ら い	<p>痛覚は，人類にとって無視することのできない重要な感覚の一つである。我々は侵害的な刺激が身体のだこかに与えられると，その刺激によって痛みを認知する。この時に生じた痛みは，どこに，どのような侵害刺激が加えられたかを知る重要な警告信号である。これが，痛みが人類にとって大変重要な感覚であるといわれている所以である。しかし，一度末梢組織に炎症や神経損傷が引き起こされると，人類にとって不必要な慢性的な痛みが発症してしまうことがある。この痛みは臨床的にも治療が困難で重篤な痛みとなることが多い。生理学講座では，正常な痛みおよび病的な痛みの発症機構に関する研究を行い，論文を読み，そのメカニズムを理解することを最終到達目標としている。</p>
テ ー マ：	<p>1. 三叉神経系侵害情報伝達経路 2. 顎顔面領域における異常疼痛の発症機構 4. 神経回路形成のメカニズム</p>
内 容：	<p>三叉神経系の痛みに関する研究に参加し，それぞれの研究に関係する文献を読解する。生理学講座で用いている電気生理学的手法，生化学的手法および免疫組織学的手法を習得する。それぞれの研究テーマに対して，得られた研究手法を用い実験を行う。実験によって得られたデータについてディスカッションし，研究データの理解を深める。データをまとめ，最終的に一つの論文を完成する。</p>
成 績 評 価：	<p>研究に関する学会発表および論文の内容について評価する。</p>
そ の 他：	<p>特になし</p>